

1. 用意するもの

1) 材料

プリンタ用紙 (B4)	7枚	※ 1
ラミネート用フィルム (A4)	7枚	※ 1 ※ 2
リング (φ25)	2個	

2) 工具など

カラープリンタ	両面印刷可能なもの	※ 3
メンディングテープ・クリップ等		
ラミネータ	A4サイズ以上のもの	※ 2
スライドカッター		※ 2 ※ 4
コーナーカッター		※ 2 ※ 4
サインペン等	(圧着後の) ラミネートフィルムに目印をつけられるものであれば何でもよい	
2穴パンチ	センター合わせ用の目印があるもの	

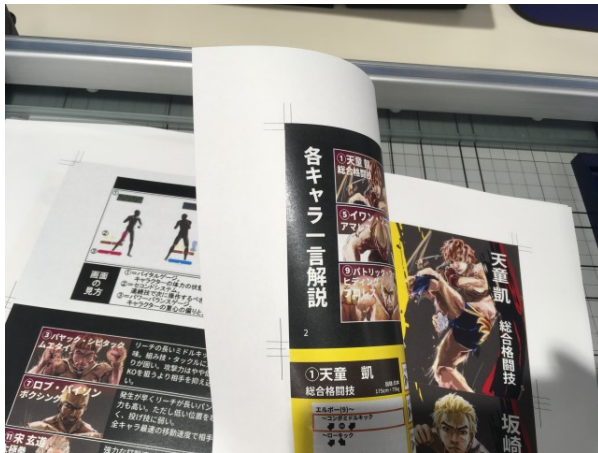
- ※ 1 個人利用などで耐久性がそれほど必要ない場合は、プリンタ用紙+ラミネートの代わりに厚紙を使用してもよい。
- ※ 2 ラミネート加工サービスを提供している印刷屋であれば大体借りられる。
- ※ 3 コンビニ等のプリンタを利用する場合、富士フィルムイノベーション (旧富士ゼロックス) 社のものを推奨する。発色が良いため。
セブンイレブン：富士フィルムイノベーション
ファミマ・ローソン：シャープ
ファミマ・ローソン：シャープ
- ※ 4 ハサミ・カッターナイフ等で代用しても構わない。
カッターナイフを使用する場合、下記も用意した方がよい。
鉄定規 B4サイズ長辺 (364mm) 以上のものが望ましい
カッターマット B4サイズ以上のものが望ましい

2. 作成手順

1) 両面印刷

私製武力ONEインストラクションカード.pdfを、B4横両面・短辺として印刷する。

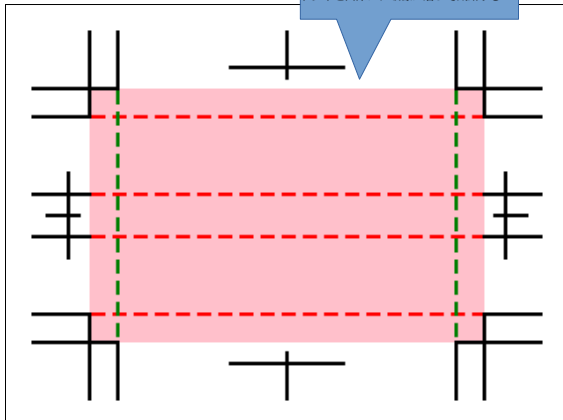
カラーモード	フルカラー
用紙サイズ	B4横
ちよつと小さめ	しない ※ プリンタが対応していれば
両面印刷	両面・短辺とし



2) 裁断1

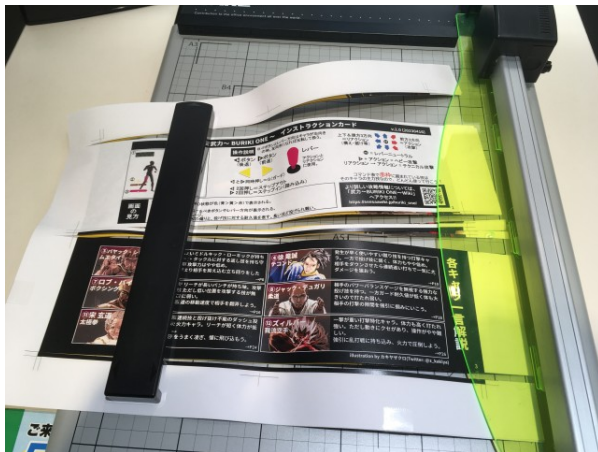
用紙をトンボ (トリムマーク) に沿って裁断する。

トンボを目印に、破線に沿って裁断する



加工精度確保のため、スライドカッターを使用することが望ましい。
 両面印刷すると表裏でトンボがずれるが、基本的にオモテ面のトンボを基準にすればよい。
 作業効率化のため用紙を7枚重ねて裁断する。
 スライドカッターで裁断する場合、紙を完全に切り離してしまうとトンボが見えなくなってしまうため
 下図のように紙の一部を繋げたまま①～⑥の順で裁断していくとよい。

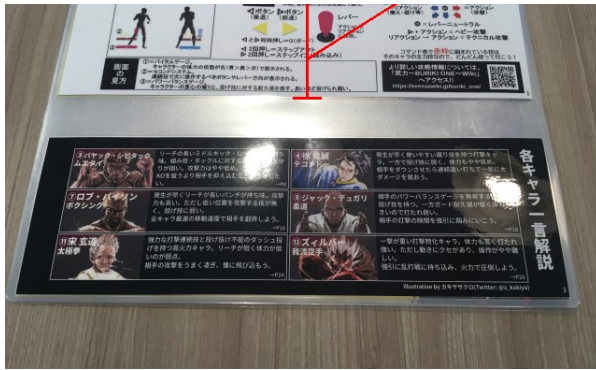
7枚重ね、メンディングテープ等
 で留めて裁断する



カッターナイフを使用する場合は下記動画を参照のこと。
<https://www.youtube.com/watch?v=j33z7dNo4Sc>

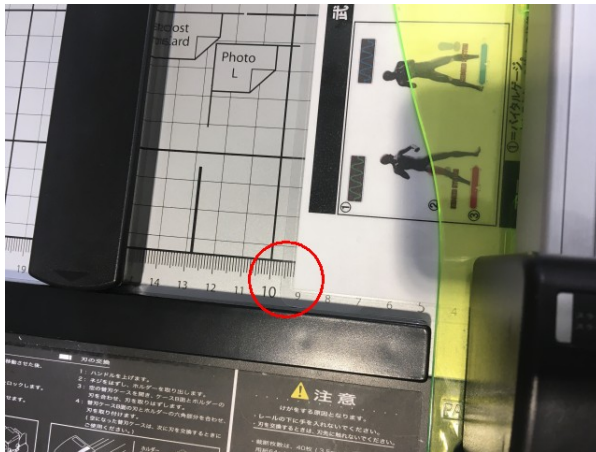
- ラミネート加工
 耐久性向上のため、用紙をラミネート加工する。
 ラミネート用フィルム (A4) 1枚につき用紙を上下に挟んで圧着する。
 「手順2」裁断1」の加工精度に応じて、余白と全体の高さ (短辺の幅) を決めた上で圧着する。
 標準は
 用紙高さ 90mm + 上下余白 3mm+3mm = 96mm
 とする。





4) 裁断2

圧着後のラミネートフィルムを裁断する。
 「3」ラミネート加工で決めた高さ(96mm)で裁断する。
 圧着時に余白を取りすぎた場合は高さを変えてもよいが、いずれにせよ14枚全ての高さを揃えること。
 スライドカッターの性能にもよるが、ラミネートが固いため重ね切りはせず1枚ずつ裁断した方がよい。



5) コーナーカット

使用時に手を傷つけないよう、裁断後のラミネートの角を丸くする。



6) バンチ穴用目印

バンチ穴をあける際の目印として、縦じろ側の中央(高さを96mmとして下辺から48mmの位置)にサインペン等で目印を打っておく。
 立てかけて使う都合上、下辺を基準にすること。





7)パンチ穴

2穴パンチで同じしるに穴をあける。



8) 綴じ

用紙をページ番号順に並べ、リング (φ25) で綴じる。



完成

3. 使い方

プラスチック筐体などの、ディスプレイ下部のベゼル部分に立てかけて使用する。



以上